総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域人材ネット

何もない町が変わる！＜聖地巡礼・ロケツーリズム＞による地域活性

藤崎慎一　（　ふじさきしんいち　）

株式会社地域活性プランニング　代表取締役

○ 登録者情報

所在地

東京都港区西新橋一丁目11番3号 虎ノ門アサヒビル7F

略歴

●のべ631団体が参加！地域の魅力を効果的に発信する手法＝“ロケツーリズム”
　→一般社団法人「ロケツーリズム協議会」 会長・代表理事
●メディア・映像制作者1万人が購読！Amazon旅雑誌No.1の聖地巡礼バイブル
　→国内唯一のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」 発行人

【プロフィール】
1986年（株）リクルート入社。全社最優秀経営者賞を2年連続受賞。99年、地域活性事業部商品開発Gマネージャーとして、観光振興をはじめ、雇用・定住・教育等、地域活性に関する企画・プロデュースを行う。その実績から中央省庁、都道府県等のさまざまな委員を歴任。
2003年（株）地域活性プランニングを設立。企業コンサルティングをはじめ、住民自立型の地域活性を実現するための仕組みづくりと人材育成を実施。また国内初のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」（3.5万部）発行人でもあり、地域の魅力ある資源を効果的にプロモーションする手法として、“ロケツーリズム”と“ご当地グルメ”を提言し、地域活性事業で全国各地にて指導を行う。

【主な委員・委員会等実績】

2009年～	地域活性化伝道師	（内閣官房　都市再生本部）
2009年～	地域力創造アドバイザー	（総務省）
2011年～	地域再生マネージャー	（地域総合整備財団／ふるさと財団）
2019年～	一般社団法人ロケツーリズム協議会	会長（観光庁後援）
2010年～	地域活性キーパーソン	座長（内閣官房・経済産業省）
2013年～2015年	ふるさとづくり有識者会議	委員（内閣官房）
2013年～2014年	世界にも通用する究極のお土産フォーラム	プロデュース（観光庁・復興庁）

著書・論文等

・国内唯一のロケ地情報誌『ロケーションジャパン』（2003年創刊～隔月発行）
・『日経グローカル』（2020年12月号）「ウィズコロナ時代のロケツーリズム」
・『季刊あおいかぜ』（2005年11月）「ロケ誘致と地域活性化」
・『週刊トラベルジャーナル』（2005年7月）「まちづくりはひとづくり～現場を知るということ」
・『運輸と経済』（2005年6月財団法人運輸局）「ロケ支援事業による地域観光の魅力向上」
・『月刊観光』（2004年5月）「ロケ誘致の効果的な活用戦略」

○ 何もない町が変わる！＜聖地巡礼・ロケツーリズム＞による地域活性

取組の内容

「テレビや映画のロケ地になった場所が、多くの観光客の訪れる聖地になる。」
映画『ローマの休日』から現在にいたるまで世界中で流行っている＜聖地巡礼＞は観光の起爆剤になりえる一方で、ただ作品が来るのを待つ・作品が撮影されただけでは、何も生まれません。
私達はエンタメを活用して地域の魅力を効果的に発信する取り組みを＜ロケツーリズム＞と定義し、この一連の事象を一過性では終わらせず、戦略的に仕掛けていくノウハウを学ぶ場として＜一般社団法人ロケツーリズム協議会＞を設立しました。
2016年度に観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」に選定されて以来、のべ631団体（地方自治体・企業）が参加し、また、コロナ以降はインバウンド誘客の起爆剤としてもロケツーリズムへの注目が増加し、シンガポール政府やマルタ共和国と連携した観光誘客にも取り組んでいます。
加えて、作品を通じて官民一体の地域づくりを目指すことで、観光誘客だけでなく人材育成にもつながることを目指しています。

「ロケツーリズム協議会」マッチング商談会の様子

雑誌ロケーションジャパン／監修ロケ地マップ

実績

【千葉県旭市】ふるさと納税寄付額が二倍に！テレビ露出増加で「銚子の隣のまち」から脱却
・2022年度より市とシティプロモーションに関する3年間の包括連携を締結。ロケ誘致を推進する協議会を設立し官民一体の体制を組織。
・『孤独のグルメ』をはじめとする人気ドラマ、情報番組への露出が増加し地元特産品の効果的なプロモーションに成功。
→情報番組『アンタッチャブルのがむしゃらグルメ団』で集中的に取り上げられたハマグリを起爆剤に、ふるさと納税寄付額が増加し、昨年度末の2倍に。

工夫した点や苦労した点

・情報番組を引き付ける官民一体の自立型組織の設立＆育成
・市役所を中心としたPRノウハウの蓄積＆人事異動を見越した仕組化
・地域団体にロケ誘致専門の協議会を設立し、オール旭のロケ対応を可能に

ひとことPR

私の役目は、地域の“良いところ”やそこで活動している人の“強み”を引き出すための「コーチング」です。地域のみなさんが、誰かに頼るのではなく自ら考え動く自立型の地域活性を目指しています。
また、一般読者からマスコミ1万人が購読する、国内唯一のロケ地情報誌『ロケーションジャパン』の発行人であり、TV番組や映画ドラマなどの2次的効果が期待できると好評です。
未来のふるさとの為に、一過性に終わらない、持続可能な地域活性のお手伝いをしています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

1.地域資源を活用した地域経済循環		2.まちなか再生	
○	地場産品発掘・販路開拓	○	中心市街地活性化
	6次産業化	○	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
	経営資源の引継（事業承継等）・起業支援	○	商店街活性化
○	地域中核企業等の支援		その他
	その他		
3.生活機能の維持		4.環境保全・SDGs	
	地域医療・福祉		分散型エネルギーシステム
	地域交通		地球温暖化対策
	集落機能の確保		廃棄物・リサイクル対策
	その他	○	その他　　住み続けられるまちづくりを
5.防災減災・危機管理		6.観光振興・交流	
	建築物耐震化・長寿命化		DMOとの連携
	地区防災計画	○	インバウンド対応
	BCP		民泊・農泊
	避難所運営	○	地域おこし協力隊の推進
	感染症対策		その他
	その他		
7.関係人口の創出・拡大		8.移住・定住促進	
	滞在・活動の場づくり		起業・事業承継等支援
○	地域おこし協力隊の推進	○	空地・空家対策
○	地域と関係人口の協働	○	地域おこし協力隊の推進
	その他		その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援		10.地域づくり人材の育成・教育	
	結婚・出産・子育て支援	○	人材研修
	働き方改革	○	ふるさと教育
	子どもの貧困対策	○	地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
	その他		その他
11．自治体経営イノベーション		12.シティプロモーション・地域PR	
	財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備）	○	地域ブランディング
○	官民連携（PPP・PFI）	○	メディア活用策
○	自治体間連携		効果の把握・評価
○	住民参加		その他
	EBPMに基づく政策立案		
	その他		

関連ホームページ

㈱地域活性プランニング	https://www.chiikikassei.co.jp/
ロケ地情報『ロケーションジャパン』	https://locationjapan.net/
一般社団法人ロケツーリズム協議会	https://locatourism.com/

連絡先

メールアドレス	soumu〔アットマーク〕chiikikassei.co.jp		問い合わせHP

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。